

「黒い家」

福島県郡山市・Uさん宅

阿部直人



上：緑側からリビング・ダイニングを眺める。リビングで遊ぶ家族の気配が感じられる間取り
下：外観はUさんの希望により、設計当初にイメージしていた黒をモチーフに仕上げられた



施主さんから最初に要望されたのは、家族みんなが集まれる空間を持った平屋建ての住宅が欲しいということでした。敷地のそばには郡山市街地のエッジを走るバイパスの高架が架かり、その下にはパチンコ店、周囲に空地も多いがなんとなく雑然とした土地の印象からは、開放的で外に開いた建築よりも巻貝のような求心的な形態の住宅を構想していました。

そこで、高さを抑えた方形屋根の2階建てのヴォリュームの中央にリビングを配置し、周囲に付属する部屋が取り巻いて家族みんながいつもリビングに集まってくる、そんな生活の様子を大切にしながらリビングを経由しない収納を兼ねた家事動線をつくることで来客時にも配慮しました。リビングの床を周囲から320mm下げること天井が高くなり、家の中心性が高まり落ち着きを出し、2階の子ども室に上る階段は壁から集成材の厚板を一段一段跳ね出させてリビング正面の壁から突き出させ、象徴的に扱いました。子ども室から安達太良山などの遠くの風景を見通せるように開放的に窓を設け、下階のダイニングと強化ガラスの天板越しに吹き抜けを介してお互いの気配が伝わるようにしています。

当初イメージした外観のあり方に合わせるように外壁を黒くしたいという施主さんからの希望もあり、大判の無塗装サイディングに黒と灰色の2色のシリコン塗料を使ってムラのある表情を出しました。今、街並みに小さく主張するように丁字路の突き当たりのアイストップとなっています。

(文/阿部 直人)



1段分低いレベルのリビングからダイニングを見る。空間のメリハリにより庭へ抜ける開放感が生まれている

撮影/古瀬 桂



2F



1F

PROFILE

あべ なおと
 1956年 福島県郡山市生まれ
 1978年 法政大学工学部建築学科 卒業
 1981~83年 (有)富永謙+フォルムシステム設計研究所 勤務
 1989年 阿部直人建築研究所 設立
 2002年~ 日本大学工学部 非常勤講師
 2003~2013年 国際アート&デザイン専門学校 非常勤講師



リビングとダイニングは床レベルの違いのほか、内装の仕上げも変えることで空間にリズムを生んでいる

DATA

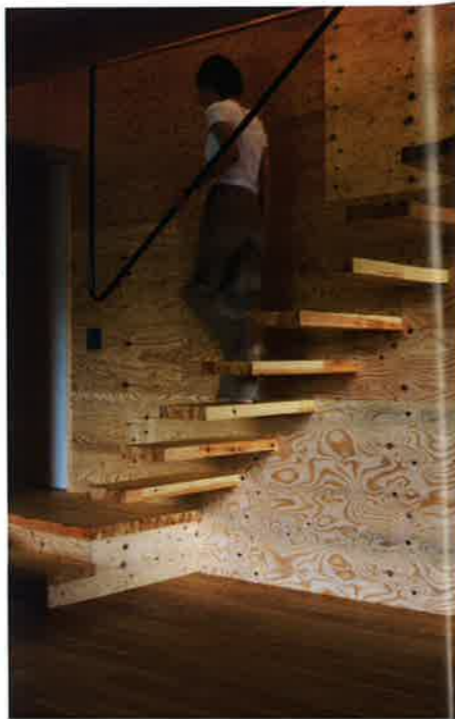
福島県郡山市・Uさん宅
 家族構成/夫婦30代、子ども2人
 設計/(有)阿部直人建築研究所 阿部 直人
 ☎024-925-7616
 http://www.ab-as.com
 E-mail:as@ab-as.com
 施工/信和建設(株)
 ☎024-952-9001
 http://www.shinwa-21.co.jp

■建築データ
 構造規模/木造(在来工法)・2階建て
 延床面積/125.18㎡(約37坪)
 <主な外部仕上げ> 屋根/ガルバリウム鋼板立平巻・外壁/窯業系サイディング 2色ムラ出し塗装仕上・建具/玄関ドア:アルミ製断熱ドア、窓:アルミ樹脂複合サッシ
 <主な内部仕上げ> 床/ナラフローリング/バインフローリング・壁・天井/石膏ボードの上EP塗装 一部構造用合板
 <断熱仕様 充填断熱> 基礎(内張)・床下/スタイロフォーム3種 b65mm・壁/高性能グラスウール16kg100mm・屋根/硬質ウレタンフォーム保温板50mm+50mm・現場発泡ウレタンフォーム吹付160mm
 <暖房方式> ガス温水床暖房・ルームエアコン

■工事期間/平成29年9月~平成30年3月(約6ヵ月)



上: 2階には小ぶりながらも子ども室を2部屋用意。将来的に自由な空間としても使える可変的な仕様に
 右: 構造用合板によるキャンティレバーの階段。スチールの手すりと相まった美しいデザインが秀逸



右: ダイニングの上部は屋根りの天井として、一部を吹き抜けに。ハイサイドライトからの陽が射し込む
 左: キッチンにはシンクとコンロの対面に造作棚を設けて収納問題を解決。奥の扉はパントリーに通じる

